

このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介します。
男女平等推進センター「パリティ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



考えない論
悩まなければ
答えが見つかる!
(ARUMAT)
著者: 杉原白秋

ぼくらは日頃人を無意識に批評している。カンタンにわかったような気になっている。既存の categorie にその人を当てはめただけなのに。相手をわかったと思った瞬間、すでに間違えている、そう考える大切さを人権や平等とリンクさせて読ませるシュールな哲学書です。考えないときこそ無条件に受け入れているのですね。



自分の価値を最大にする
ハーバードの心理学講義
(大和書房)
著者: プライアン・R・リトル
翻訳: 児島修

本文内容に照らして、タイトルの「自分の価値を最大にする」には違和感を持ったが、パーソナリティ心理学の知見に基づき、自分の性格の多面性や他者との違いを認識することは、社会生活を円滑に進め、人生の質を高める上で役立つのではないかと。最近ブームのアドラー心理学とは違った切り口で、楽しく読める良書です。



『女性映画が面白い』
2015年版
(バド・ウィメンズ・オフィス)
著者: 小藤田千栄子・松本侑壬子・藤田篠・林千草・川口恵子・土井ゆみ

「別冊女性情報」という雑誌をご存知だろうか。全国主要新聞17紙から女性関連記事を毎月7000点収集し、厳選した情報500点を特集と18のテーマで掲載・集録している月刊誌である。ここに連載された女性監督作品の映画評を中心に毎年集めたのがこの本で、評者は全て女性。世間とは一味違う女性視点からの鋭い映画評で鑑賞もぐっと深まる。

「パリティだより」では、平成28年度に男女平等推進センターが実施した事業の報告をします。

平成28年度 事業報告

連続講座《沿線3市男女共同参画連携事業》

- 12/16 【講師】藤岡喜美さん
カッパリ起業も、プナ起業したい方もどちらも大切なのが自分が目指すビジョンを描くこと。自分フンドを築くこと。
【講師】山田晴男さん
企業としての働き方改革とは。人材の確保、生産性の向上などを実現するために男女ともに働きやすい職場環境の必要性を説く。
- 10/30 【講師】藤岡喜美さん
ワーク・ライフ・バランスの意識調査として、3市合計約5000の企業に対し実施。女性起業応援フェスタ2016
起業した、また、したい女性の自分のカタチを出展(49団体)し、即売を兼ねた商品等の紹介と出展者同士の情報を交換。
これってビジネスになるの? かるやかに起業
- 7/8~ 【講師】松本和子さん
虐待相談件数の増加に伴う心理的虐待の現状と対策について。地域全体の課題とするには、企業等意識調査実施
ワーク・ライフ・バランスの意識調査として、3市合計約5000の企業に対し実施。

週間事業

- 11/11 【講師】松本和子さん
虐待相談件数の増加に伴う心理的虐待の現状と対策について。地域全体の課題とするには、企業等意識調査実施
ワーク・ライフ・バランスの意識調査として、3市合計約5000の企業に対し実施。
- 7/2 【講師】田中俊之さん
一億総活躍社会に必要なもの
【講師】山田晴男さん
企業としての働き方改革とは。人材の確保、生産性の向上などを

連続講座

- 3月4回 【講師】吉田朋子さん
初めての赤ちゃんのこころ(母)をもつ母親対象のプログラム。
おだやかな気持ちで親子が向き合う。
男の生きにくさ(しんどさ)を読みとく
- 7月3回 【講師】①鈴木治夫さん ②東京芸術大生 ③奥田明子さん
講座①の街に生きて、3000年の雅楽の音色を次世代につなぐ ②雅楽の世界へのいざない ③料理体験「地粉と地場野菜を使って、手打ちの「ぼつと」うどん」の挑戦
BPPプログラム「赤ちゃんがくるよ」
- 5月3回 【講師】永田京子さん
バランスボールエクササイズと更年期に打ち勝つ体づくり
アラ還世代の男塾



パリティまつり

- 1/23~2/3 【講師】安田葉津紀さん
【講師】藤岡喜美さん
世界の貧困や災害の取材を通して、世界の状況と日本の現状について思いのたけを話す。
【講師】国際社会と幸福論他3講座
体験会「iPad体験会」シートで簡単家計簿他3企画
上映会「わたしはマアラ」八十七歳の青春―市川房枝生涯を語る―
コーナー「カフェコーナー」簡単！こころの鬼の面「終活何でも相談」
「団体パネル・作品展示」
- 1/29 【講師】安田葉津紀さん
世界の貧困や災害の取材を通して、世界の状況と日本の現状について思いのたけを話す。
【講師】国際社会と幸福論他3講座
体験会「iPad体験会」シートで簡単家計簿他3企画
上映会「わたしはマアラ」八十七歳の青春―市川房枝生涯を語る―
コーナー「カフェコーナー」簡単！こころの鬼の面「終活何でも相談」
「団体パネル・作品展示」
- 3/11 【講師】日本セクシャルマイノリティ協会
セクシャルマイノリティについて「自分が接しているときも当事者だったら」という問い掛けを考えてみる。

単発講座

- 6/11 【講師】稲塚由美子さん
映画「隣人」壊れる日本の家族と未来
家族の「中身」と「血縁」はなっていくが、夏休みパパと新聞チャンバラ「小さい子は、新聞ボールもあるよ」
- 8/7 【講師】西東京フリーパークキャババン
新聞紙を丸めて、剣にして、遊ぶ。新聞紙をちぎって、プールにして思いっきり、遊ぶ。親子で遊ぶスキルを身につける。
【講師】藤岡喜美さん
【講師】藤岡喜美さん
【講師】藤岡喜美さん
- 10/15 【講師】藤岡喜美さん
思い出をアップリクベアへ
【講師】藤岡喜美さん
【講師】藤岡喜美さん
- 11/30 【講師】藤岡喜美さん
【講師】藤岡喜美さん
【講師】藤岡喜美さん
- 1/26 【講師】本間りえさん
多様化する家族の在り方、講師自身の経験や「患者さんを通して、たくましくなやかに生きるためのヒント」を伝える。
女性のための今日からできるストレスマネジメント入門
【講師】佐藤隆之さん
現代社会を快適に生きるために欠かせないストレスマネジメント、その基本を知る。
- 2/19 【講師】佐藤隆之さん
現代社会を快適に生きるために欠かせないストレスマネジメント、その基本を知る。
【講師】日本セクシャルマイノリティ協会
セクシャルマイノリティについて「自分が接しているときも当事者だったら」という問い掛けを考えてみる。
- 3/11 【講師】日本セクシャルマイノリティ協会
セクシャルマイノリティについて「自分が接しているときも当事者だったら」という問い掛けを考えてみる。



▲ぼつと一息、てしごとカフェ(写真上)、新聞チャンバラ(写真下)

は、開催予定の事業となります。

No.6

ステキに
男女平等参画!
「女性の活躍」編

起業で始まる
私らしい働き方の実現



▲良いアイデアが湧いたら、すぐに動き始める行動派の石井さん

Best Partner代表 石井 純里さん (西東京市在住)

私は、18歳の時に家族と台湾から日本に移住してきました。大学を卒業後、日本で通訳・翻訳の仕事を経て、結婚、退職そして出産。子どもが3歳になった頃からパートや派遣で語学の経験を活かして再び働き始めたものの、家事・子育て、そして昼休みを削って働くような仕事中心の忙しさのなかで体の不調を感じ始め、期間満了で一旦仕事を休むことにしました。

時期を同じくして母が大病を患ったため、一連の治療に付き添うことになりました。日常会話では不自由しない母でも医師とのコミュニケーションは難しく、改めて外国人が日本で治療を受けることのハードルの高さに気付かされました。そんな中で、偶然見つけた求人にて医療機関の通訳をすることになり、4年目になった今でもその仕事は続けています。

その後、西東京市主催の「創業スクール(全5回)」を受講し、昨年「Best Partner」という事務所を設立しました。医療通訳をはじめ、最近は海外からの医療観光ツアーも増えているので、外国人患者をスムーズに受け入れるための仕組み作りを、医療機関に対して提案しています。まだ走り出したばかりですが、日本の良質な医療ケアを海外の方に伝えていきたいという思いもあります。

台湾では結婚・出産後も女性が働き続けるのはごく当たり前のこと。大企業に勤める人よりも、自分の個性や生活を大切にしながらスモールビジネスを立ち上げる人が多いのです。私の母も小さな洋品店を経営していました。今の日本は会社(仕事)を中心としたライフスタイルが主流だけれど、今回起業したことで、自分の人生や家族・生活を中心とした働き方を私なりに実現していきたいと思えます。